

人口 8,408人
 男 3,972人
 女 4,436人
 世帯 1,882

(昭和45年11月1日)
 (現在住民登録人口)

あに

編集と発行 秋田県阿仁町役場総務課
 印刷所 秋田県阿仁町阿仁合印刷所

45年

11月

98号



人口懸賞募集当選発表

国勢調査を記念して実施した町の人口懸賞募集に、多数の応募者がありました。最も近かつたのが畠町の三浦正雄さんの8,235人で、調査結果とわずかに10人違いでした。応募された中から近い順に次の10名の方に記念品を贈ります。(敬称略)

- 三浦正雄(畑町)、三浦八重子(畠町)
- 辻兵蔵(湯口内)、柴森憲作(大町)
- 柴森知洋子(大町)、橋本富枝(下新町)
- 辻憲彦(東裏)、宮原忠美(下新町)
- 伊藤竹治(真木)

人口を調査するための、五年に一度の国勢調査が、十月一日全国いつせいに行なわれました。

その結果、阿仁町の人口および世帯の概数は次の通りです。

人口 八、二二五人
 男 三、八五二人
 女 四、三七三人

世帯 一、八九三
 一世帯当 四・三四人

これを、前回の昭和四十年の調査と比較してみますと、人口で千六百三十四人減っており、その減少率は十六・五七%で、秋田県で三番目という高い率となっています。

また、今回の特徴として、世帯数が前回より百四十三も減少するという、他に

町村には見られない、著しい過疎現象を呈していることです。

人口、および世帯減を旧町村別にみますと、人口で旧阿仁合が千七十二人、旧大阿仁が五百六十二人、世帯では旧阿仁合が百二十八、旧大阿仁が十五となっており、阿仁合地区の減少が目だっています。

こうした減少の主な原因としては、全町的には新中高校卒の若年層の町外流出があげられ、地域的には、鉱山不況のしわよせが、旧阿仁合地区に、著しい世帯減という形で表われ、人口減の一因をなしています。

同時に、出生の少ないこともあげられます。昭和三十九年までは二百人台だった出生者が、四十二年から九十八人、四十四年には八十二人と、下り坂となつていくことです。

なお、年令別、産業別人口等の国勢調査のかわしい結果については、現在、集計中であり、判明次第ご報告致します。

邦栄通信誘致決まる

年内操業をメドに

第四回阿仁町臨時町議会が十月三十日行なわれ、工場誘致(邦栄通信)に関する一般会計の予算補正等について審議し、次のとおり可決されました。

臨時町議会

阿仁合財産区
立木売買契約

締結

阿仁合財産区有の吉田苗代沢の立木処分売買契約締結について同意したもの
○杉 千二百二十七㎡外
○価格 千四百五十六万一千八百円
○契約者 阿仁製材事業協
同組合理事長近藤竹雄

工場誘致に伴う
一般会計追加補正

邦栄通信工場誘致に伴い、工場の敷地、施設、設備等に要する経費を、一時町でたてかえるための予算として二千二百八十六万九千円を一般会計に追加することが承認されました。たてかえは県からの借入によつてまかなうものです

なお、この議案については、多額の投資をするという点でもあり、誘致企業の経営内容と、その将来性について慎重に検討する必要があるのではないかと、いうことで継続審議となり、総務委員会付託審議の上、十一月五日の本会議で承認されたものです。

誘致される邦栄通信は、テブコーダー、カーステレオ等を組立てる工場、年内操業をメドに工事着工の予定です。

場所は、現在の御蔵古河社宅の東側にある町営住宅の裏で、敷地六〇〇坪、建坪が二〇〇坪です。

従業員は当初五〇名位でスタートし、将来は百〇百五十名が見込まれています



警鐘

十一月に入つて、六日、七日、九日と、更に十八日には吉田と、ボヤを含めて連日のように火災が発生しました。

十月までは八ヶ月間無火災という記録をつつてきたのですが、誠に残念なことです。

火災は、一瞬のうちには貴重な財産を消失してしまふばかりか、尊い人命をも奪う場合があります。ちよつとした油断や忘

れたころにやつて来るのが火災です。これからは火気取扱いが多くなることかからます。その危険性があります。いま一度、火災に対する注意を、一人一人が、家族のみんなが、地域の全部の人が心がけて、不幸なことがないようにいたしまししょう。

毎月十日は防火の日です。毎日午後十時は消防の時間です。おやすみ前に火の元をたしかめましよう。

町の振興5ヶ年計画

(2)

農林水産業その他産業の振興

圃場整備事業

次の、各地区の圃場整備事業を実施する。

- 山振特別開発事業
- 岩ノ目、鳥坂、荒瀬、与吉野、三〇・四五ha。
- 泉単補助事業で……
- 萱草、大平、佐山、伏影地蔵岱、荒瀬、笑内など。四五・二ha。
- へき泉単補助事業で……
- 根子、小倉、戸島内、中村、鳥越、小櫛、塚ノ岱
- 中村、上小様、畑町、露熊
- 荒瀬川、野尻、打当、鎌ノ
- 滝、前山、関根など。
- 一〇九・二ha。
- 非補助事業として三四・五ha。
- 農業構造改善事業で……
- 根子、吉田、小淵、荒瀬
- 幸屋、湯口内、吉田堤など一二五ha。
- 樹園地造成として、戸島内に泉単補助により栗園地造成五ha。

トラクター一台、看視舎一棟。吉田一〇ha。打当地区九〇ha。

◎家畜導入
肉用素牛購入四十九年度までに五百五十六頭。

◎牧道開設
打当牧道千五百米。高津森牧道千八百米。

◎近代化施設・機械購入
四十九年度までに次の機械購入をする。

水田用トラクター十九台
防除器十三台。田植機四〇台。コンバイン二十九台。

草地用トラクター三台。
施設として、格納庫一棟
看視舎一棟。共同畜舎一棟
・牧野購入六九・七八ha。

◎林業施設
林道土平線改良二千五百

観光施設

・森吉自然公園観光道路として、車道二千七百米。登山道三千米の開設改良。
・露熊道路百五十米。萱草七面山四百五十米。
・施設整備として、森吉山ブナ帯、及び立又峽に駐車場を建設。

◎保養センター(二千平方

米)を四十九年に建設。
・スキー場ジャンプ台四十五米級を一期(四十六年)

・探検のためボーリング調査を実施。
・企業の誘致
・刷毛工場を誘致する(四十五年)

以上の概算事業費は四億七千四百五十万五千円。

◎耐火書庫建設。
役場の重要書類保管のため耐火書庫を建設する。

◎議会会議室の建設
四十七年をメドにコンクリートブロック二階建、一九八平方米。

以上の概算事業費千二百三十九万二千円。

以上、振興計画について事業を中心に概要を述べましたが、この事業の概算総額は、十二億六千六万六千円となつています。

なお、各事業は今後の町政をすすめるに当り、各年度の重点事業となるものが、事情によつては若干の変更がありますので、ご了承願います。

集落の整備

◎辺地小集落の解消をはかるため、四十九年度までに四十八戸の移転に対し補助をする。
ほか、住宅建設資金貸付を行なう。

◎宅地取得及び造成として四十九年度までに、九、二五

六平方米。
以上の概算事業費四千五百六十二万八千円。

その他

◎支所建設
比立内に支所を建設する(四十五年) 百平方米。

農道開設

根子立石向線千米。根子滝下線二百米。中佐山線百四十米。突瀬線五百米。小倉沢線千米。吉田線二百米。小椋中川向線二百米。打当前山線池淵橋架設。

◎草地造成
高津森草地造成一六〇ha

四百五十年の歴史を閉じる

露熊部落で離村式

山峡の紅葉もようやく色づきはじめた十月十二日、露熊部落で、四百年余の部



(こうして遊ぶのもことしかぎり、露熊部落)

落の歴史に幕を閉じる部落
離村式が行なわれました。
へき地に住む人たちの生

活の不便をなくしようと、昨年からは町です。めていた「へん地小集落解消」に部落のみならず、同じ部落に住む十戸の全世帯が離村することになった。今から約四百五十年前の大永四年にひらかれたといわ

七等勲佐藤さん 消防功労で



子の佐藤佐吉氏が、晴れの勲七等青色桐葉章をうけることになりました。昭和二十九年十九歳で消防

長をつとめています。十六歳。受賞を心からお慶び申し上げます。

十一月三日文化の日に全国で生存者叙勲が発表されましたが、当町で根

付員になつてから、退団までの約四十年にわたる永年の消防功労が認められたもので、

その間、町議分団長、町議会議員一期をつとめ、現在は公民館根子地区分館長、根子音楽会々

れる露熊は、薪炭と農耕の部落として今日に至つていますが、当初は四、五戸の戸数でしたが、炭山の最盛期の昭和十二年頃には三十余戸二百人の住民が居住したといわれます。

その後、時とともに離村者があいつぎ、現在わずかに残つた十戸も、最近後は継者不在に悩んでいました。各世帯の移動先は次のとおりです。

- 荒瀬 四戸、畑町 四戸
- 水無 二戸

協力感謝

共同募金

十月一日から、全国的に実施された「赤い羽根」共同募金運動で、当町ではみなさんのあたたかいご支援により、目標の二十九万四千円を超える三十三万六千五円の実績となりました。ご協力感謝申し上げます。部落別、並に千円以上寄金された方は次の通りです

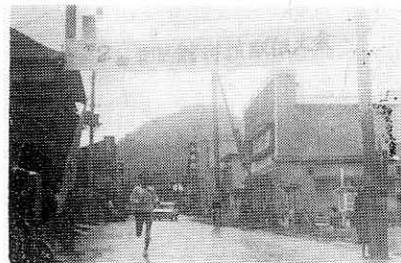
- ◎千円以上寄金された方、草雄忠明、杉田佳政、伊藤照夫、上杉一郎、近藤竹雄、長崎文雄、佐藤茂直、渡部武治郎、佐京寛雄、小武海順治、加賀谷榮之助、高嶋清吉、吉田英一、庄司乙彦、佐々木正一、鈴木富藏、田中保清、神成一郎、高橋兼雄、湊荒男、宮原忠美、今井乙磨、佐原征四郎、伊東孝徳。
- ◎三千元 沢井作蔵。

昭和45年度共同募金部落別

部落別	戸数	金額	部落別	戸数	金額	部落別	戸数	金額
上小様	28	5,600	御蔵住宅	5	900	笑内	35	6,560
下小様	19	3,420	ク社宅	15	3,780	幸屋渡	95	18,080
小淵	31	6,200	上新町	108	27,800	幸屋	34	6,440
吉田	67	12,295	畑町	51	10,250	比立内	132	21,690
湯口内	34	6,420	ク新住宅	12	1,500	新中	27	4,900
長ノ町	56	9,920	ク東裏	35	8,220	牛滝	7	1,080
三軒	35	6,380	ク社宅	14	2,520	長畑内	29	5,220
上倍	12	2,160	荒瀬	150	32,260	戸鳥内	64	12,080
横町	40	7,790	小沢	14	2,900	中村	40	7,200
真木	15	2,780	荒瀬川	8	1,200	打当	33	6,220
大町	67	14,460	萱草	49	9,140			
下新町	139	47,620	根子	88	15,840			
三両	8	1,440	伏影	14	3,740	計	1,605	336,005

水無が二連勝

地区館對抗駅伝



「体育の日」を記念して第二回阿仁町地区公民館對抗駅伝大会が、十月十八日比立内郵便局と阿仁合郵便局の間、区間十四・七キロにおいて行なわれました。はだ寒い雨の、悪コンディションにもかかわらず、各地区を代表する小、中、高校、一般の各選手は懸命の力走、その結果水無チームが53分38秒でゴールデン二連勝をとげました。

- ① 根子地区 53分49秒
- ② 比立内A 54分13秒
- ③ 比立内A 56分29秒
- ④ 銀山A 58分25秒
- ⑤ 三枚

「切符は地元の駅で買いますよ」

鷹角線開通と赤字線廃止阻止のため

阿仁合線の廃止問題が出て、はや二年目をむかえようとしています。

そうしたなかで、十一月一日には、鷹角線の南端の角館線が開通しました。この開通式で、鉄道建設公団の篠原総裁は、「角館線と阿仁合線を結ぶ鷹角線の計画は変わっていない」と述べています。

一方では廃止といわれ、また一方では延長という両極端の意見ですが、町としては、あくまでも赤字線廃止阻止はもろんのこと、鷹角線開通に全力でとりくんでいく方針です。

十月には、建設公団の盛岡支社長一行が現地調査で来町しましたが、その際にも、地元として強力に陳情をしておりました。

また、さしあつたつての問題である赤字線廃止ですが、廃止を阻止するためにも、次の点について、利用者のご協力をお願いします。

○キップはできるだけ往復キップを購入するようにしましょう。

○車内で買ったキップは、たとえ阿仁合く比立内間であつても、地元駅の収入になりませんので、キップは地元の駅で買うようにしましょう。

安心して働けるため

「出かせぎ互助会」

加入しましょう

出かせぎに出る人に、安心して出かせぎできるようにするため、県と市町村がいつしよになって、「秋田県出かせぎ互助会」をつくることにしました。

年額二〇〇円というわずかな会費で、出かせぎ先での災害・死亡、病気に對する見舞金や、就労中の留守宅の火災に對する見舞金など、いろんな恩恵があります。

安心して出かせぎができるよう、加入をおすすめします。

互助会のあらましは次のとおりです。

・会員となれる人
現在住んでいる市町村を離れ、家族と別居しながら三日以上一年未満の間、他地域の事業所などに雇われて働いたのち帰郷される方です。就労先は県内外を問いません。

・会員になるには
役場の「出かせぎ相談所」に、会費二〇〇円を持参の上届け出て下さい。

町営住宅入居募集

- ①場所 長畑
- 戸数 第一種住宅2戸
- 規格 第六疊1、四疊半1、物置、便所
- 家賃 月額1,500円
- ②場所 東葉団地上
- 戸数 第二種住宅1戸
- 規格 第六疊1、四疊半1、物置、便所
- 家賃 月額2,500円

申し込みは11月30日までに、役場総務課へ。

・就労中、留守宅が半分以上焼けるような火災にあつたときは、見舞金五万円を差し上げます。

・就労先で賃金が支払われないときには、賃金の六割を立替えます。

・「家庭の日」に、ご家族とお互いに手紙をとりかわがきを差し上げます。

・健康診断を無料で行ないます。

・会員五人に一部の割で、「さきがけ新聞」を月日送りします。また、県広報誌「あきた」(月刊)を送ります。

・不幸にして就労がでなくなつたときは、見舞金三〇万円を差しあげます。

・就労がで一月以上休んで医師の治療をうけなければならぬような災害にあつたり、病にかかつたりしたときは、その期間に応じた手当を差し上げます。

じつて見舞金三〜五万円差し上げます。

老人ホームに

善意

老人ホームに、次の方より贈りものをいただきました。

・荒瀬小学校四年生十一人 (代表者橋本正永くん) のみんなは、学校教材用に飼つていたウサギを売つたお金六〇〇円を、みんなで相談の上、おとしよりの方に使つてくださると、贈つてきました。

根子の佐藤富松さんから、ホームに入つていらっしゃる心身障害者を扶養して、五千円をいただきました。

・ご好意ありがとうございます。ホームのおとしよりに、私たち、とてもよろこんでいました。

教員住宅入札

三枚小、中村小、第二中に建設予定の教員住宅の入札が決まりました。

◎場所 三枚小、中村小、第二中に各一戸、

◎木造平家建、五〇㎡

◎工事請負者
鷹巣町五代儀工務店
三百四十万二千円
◎工期 四十五年十月二十日〜十二月三十一日

心身障害者扶養共済制度ができました

心身に障害のある家族を扶養している保護者にとつて、大きな悩みの一つは、自分に万一のことが起つた場合、残された障害者を誰が面倒をみてくれるかという事です。

このような 保護者がなくなつたあとに残された障害者の経済、ならびに精神的不安をなくするために、心身障害者扶養共済制度ができました。

これは、一定の掛金を納めると、保護者が死亡または廃疾の事態になつたときに、心身障害者に月額二万円の年金を給付するという制度です。

加入できるのは、将来独立自活することが困難とみられる心身障害者を扶養している保護者で、年齢が満四十五歳未満となつていますが、本年度にかぎり、制度発足当初ということで、特に満六十五歳未満まで加入できることになってい

ます。掛金は三十五歳未満で月額千円、三十五歳〜四十五歳までが千三百円、四十五歳以上千五百円となつており、たゞし、生活保護世帯は掛金が免除になります。

申し込み、そのほか詳しいことについては、役場民生課で相談に応じています。ご相談ください。

国保からお願

移動手続きと
保険証の返納を
国民健康保険の加入者で転入、転出をしたり、新に職場の保険に加入された方がありましたら、すみやかに、保険証と印鑑を持参の上、役場におとどけください。保険証の書きかえが必要ですので。

また、転出したり、新に職場の保険に加入された方は、国民健康保険証は使用できなくなりますが、知らずに使用している方が多くあつて医療費をもどしていただくなどの、わずらわしいお悩みをさせています。そうした方は、国民健康保険証は使えませんので、役場にお返し下さるようご協力願います。

慶弔だより10月

◎こんにちは・赤ちゃん
出生児 保護者 住所
松橋 康浩 (李雄) 幸屋渡
西根さとみ (清美) 幸屋
クムゆみ (ク) ク
良峰ルリ子 (宗一) 新町
福島 統 (晴) 下新町
伊東 幹子 (昇一) 伏影
松橋智恵美 (久男) 東裏
水井 幸江 (富雄) 吉田
近藤 聡明 (一進) 下新町
加賀 博樹 (金蔵) 吉田
関 美幸 (治平) 大町

◎結婚・おしあわせに
大宮田茂男 比立内
菊地四三子 羽立内
加藤 茂男 昭和町
西根フミ子 幸屋



佐藤清子氏

阿仁合婦人会々長の佐藤清子さんは、病氣療養中でしたが、十一月七日永眠されました。

佐藤さんは、昭和二十三年から、永年にわたり婦人会長として社会奉仕に努められ、また町の目録奉仕団長、結核予防婦人会会長、心配ごと相談員、社会福祉協議会副会長、青少年問題協議会幹事、公民館運営審議会副議長などの要職にあつて、阿仁町の発展のためにご尽力くださいました。

その死が惜しまれております。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

明治四十二年十一月三日 生、享年六十一歳
なお、葬儀は十一月十日下新町善勝寺において婦人会々葬を以つて行なわれま

した。

(鈴木 幸治 東京都
鈴木 敬雄 比立内
伊勢 律子 宮城県
柳谷 友男 森吉町
橋口 泰昭 小葉県
工藤 ミナ 小葉県
中嶋 光三 笑内町
能登美津子 ツツ井町

死亡におくやみ申します
松橋喜代美 (38) 比立内
佐藤 米吉 (62) 根子
渡辺 福蔵 (65) 土新町